

地元産業の課題解決の鍵は、鳥大にあった！

私の地元は、九州北方の玄海灘にある壱岐島で、漁業や農業といった第一次産業が中心ですが、後継者不足という深刻な課題を抱えています。私の実家も祖父母が漁業と農業を営んでいますが、後継者がいません。私一人が祖父の跡を継いでも地域の問題は解決しないと思い、将来は地元の市役所に勤めて、島の産業活性化のために尽力したいと考えました。鳥大地域学部には、都市部から農山村への若者の移住について研究されている先生がいるので、後継者不足の解決策が得られると思い、鳥大を志望。高校2年生の時から参加している、地元のボランティア団体での活動を生かそうと、AO入試を選択しました。

志望理由書や自己推薦書では、経験を振り返って文章にするのが、想像以上に難しかったです。何回も書き直しては先生に添削してもらおうのを繰り返し、必要な情報だけにしぼっていきましました。最初からうまく書ける人はいないと思うので、とりあえず書き出してみることをお勧めします。また、新聞やニュースで気になった話題をノートに記録して、理解するように努めました。

相手の意見を受け止めることも大事

2次選考の「スクーリング」と「課題論文」の対策に、NHKの「クローズアップ現代」を見て、その内容を自分なりに要約。先生にその番組に関する問題を出してもらって解答する練習をしました。「グループディスカッション」では、積極的に意見を言うだけでなく、相手の意見が自分とは違うと思っても否定せずに受け止めて、それから自分の意見を言うようにしました。面接の時も緊張して下を見がちですが、面接官ときちんとアイコンタクトをしながら話すようにしました。相手の顔を見て話さないと、自分が言いたいこともうまく伝わりませんから。

自分が経験したことと経験していないことでは、言葉にした時の重みが違います。東日本大震災の復興ボランティアで東北へ行き、地元で頑張っている方々の姿に感銘を受けました。そうやって、実際の経験から学んだことは、面接の時に強みになるし、誰にも負けないアピールポイントになります。



(むらべ ひろき)

3年 村部 浩基 さん

長崎県立壱岐高等学校出身

MY FAVORITE
TOTTORI



島に負けない新鮮な魚

自然が豊かでおいしい食べ物がたくさんありますね。魚も地元の壱岐島に負けないくらい新鮮でおいしいです。それから、鳥取の人は温かい人が多いので、暮らしやすい所だと感じています。

平成30年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

平成30年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成31年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00～17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して
求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師(1名)が「格差社会と地域一生活困窮者を地域でどう支えるか」についての講義(約75分)を行い、その後、受験者との質疑応答(約15分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングで説明された制度の特徴とその制度が創設された背景について記述するもの(400字以内)と、受験者の生活する地域の現状を踏まえて、制度の狭間で生活に困窮し、自ら直接の支援要請ができない人々に対してどのような対策が必要かを論述するものでした(600字以内)。
グループディスカッション	ワールドカフェ方式を採用し、受験者は5名ずつ4グループに分かれて1ラウンドを15分間とした検討を行い、メンバーを入れ替えながら4ラウンドの討論を繰り返して、議論を深めました。テーマはスクーリングの内容を踏まえたもので、ラウンド毎に変更しました。
個人面接	2名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。

□ 選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性
2次(書類審査)	○	○	○	○	○
2次(スクーリング)	○	○	○	○	○
2次(課題論文)	○	○	○	○	○
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○	○
2次(面接)	○	○	○	○	○